

# 久之浜防災緑地ワークショップ

## かわらばん 第3号

平成 25 年 6 月 22 日(土)に、いわき市久之浜・大久支所にて「第3回久之浜地区防災緑地ワークショップ」が開催され、16名の地域の方が参加され、11名の方が傍聴されました。

第3回のテーマは「防災緑地のイメージを固めよう」と題し、ゾーニングの確認、それぞれのエリアの使われ方、施設の検討などについて意見交換を行いました。また、久之浜第一小学校での子どもたちのワークショップの様子が紹介されたほか、実施された船上からの久之浜景観調査やパネル展示の結果、秋葉神社の存置に向けた協議結果が報告されました。各グループとも防災緑地のイメージを具体化していくことができたワークショップとなりました。

### 当日の流れ

#### ①今日の説明と前回のおさらい



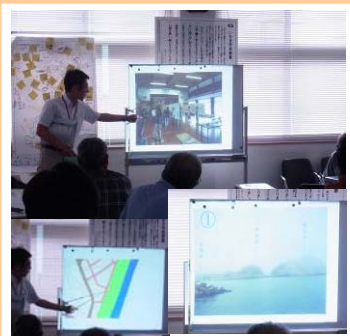
いつものように今回の開催プログラム内容、情報提供される項目の確認を行った後、前回ワークショップでの話し合いの結果をかわらばんと各グループ意見のまとめ資料にて確認しました。

#### ②情報提供-1



最初の情報提供として、現在久之浜第一小学校で実施されている5、6年生による「防災緑地について考えよう」というワークショップについて、校長先生からその様子と一部の成果が紹介されました。総合学習の時間を利用して6月7日から毎週金曜日に行われており、大人顔負けの意見に皆さんも驚かされ、次回の報告が楽しみとなりました。またいわき建設より、このワークショップにおける小学校での子どもたちの成果の反映方法について説明がされました。

#### ③情報提供-2



引き続き事務局からの情報提供として、6月11日(火)に実施された船上調査、6月15日(土)に久之浜公民館で実施されたパネル展示の結果について報告がありました。船上調査は霪のかかるあいにくの天気でしたが、海からの視点で計画地の様子が報告されました。パネル展示は50名を超える来場者があり、地域の方の関心の高さを再確認しました。最後に防災緑地内の秋葉神社の存置に向けた協議結果が報告されました。前回の議論を参考とした地域の方の意向を尊重し、また防災機能には影響が無いことが確認できたため、防災緑地区域から除外され、現地に残されることが決定しました。

#### ④意見交換



今回も5つのグループに分かれ、前回までの意見から導かれた防災緑地の使い方や機能、その配置について、これまでの話し合いを整理していく計画案づくりとして意見交換を行いました。ゾーニングの確認をして頂いた上で、園路のルートや勾配の考え方、広場の使い方、配置した施設の管理方法、100年後の将来の姿イメージなど、整備された後の防災緑地についての具体的な意見が多く出され、各緑地の整備の方向性がかなり明確に見える内容となりました。いつものように最後にグループ代表者が発表を行いました。

### 各グループの主な意見と、意見交換・全体発表の様子

#### Aグループ

【1~4号緑地】緑地の性格付け(1号:木陰のあるミニ公園、2号:軽スポーツ、3号:水辺の環境学習、4号:魅力ある場)

【5号緑地】ハマエンドウの再生の場、神社の周囲に防火用樹木、排水側溝、必要防潮堤階段は100m以内に1箇所必要(ゴミ掃除)

【その他】トイレは管理が大変なので設置しない、防潮堤に波返し必要



#### Bグループ

【全体】にぎわいのあるエリアにしたい

【1~4号緑地】公営住宅の人が利用、イベント広場、憩いの場、ゲートボール場等

【5号緑地】記憶の継承ゾーンの名称再検討、海とまちをつなぐエリア、スロープをZ状にして今まで行けた場所へつなげる等

【その他】トイレはあるとよい、海水浴の場



#### Cグループ

【全体】各戸に防災情報が届くように

【1~4号緑地】高齢者や子どもの日常的スポーツ利用、川へ降りられる護岸、観光客への対応として駐車場・案内人配置

【5号緑地】秋葉神社を資料館に、震災の記憶をたどる散策路、防犯に留意した植栽等

【その他】高齢者が多いのでトイレ必要



#### Dグループ

【全体】メモリアルなものには震災の記録を

【1~4号緑地】地域の方々の運動場、東屋・トイレを配置(専門家の判断必要)等

【5号緑地】スロープは2箇所以上、海側はクロマツ、住宅側は花が咲き地域の人が集う広場、植栽は数百年後も考慮する等

【その他】トイレも植栽もまち全体で管理



#### Eグループ

【全体】次世代の人を避難させる仕組み

【1~4号緑地】人が集まれる広場(BBQ、イベント)、海が見える場(見張台、無線)等

【5号緑地】最短で避難できる園路・サイン、注意喚起、汚れが目が届く管理しやすい緑地、海を見ながら歩く道と防犯灯等

【その他】交流ゾーンにトイレが欲しい



#### 【事務局より】

ご参加いただいた皆様  
ありがとうございました！  
今回も中身の濃いワークショップとなりました。次回はいよいよ最終回です。  
よろしくお願いします。

#### 【お問い合わせ先】

福島県いわき建設事務所  
担当:橋本、菅野  
電話番号:0246-35-6075



# ■久之浜地区での防災緑地ワークショップについて③



本ワークショップは、福島県いわき建設事務所が、久之浜地区の防災緑地整備にあたり、上位計画等との整合のほか、地域の方々の考えや思いを設計に反映させていくために開催しています。今年度進められている防災緑地の詳細設計への反映を図っていきます。

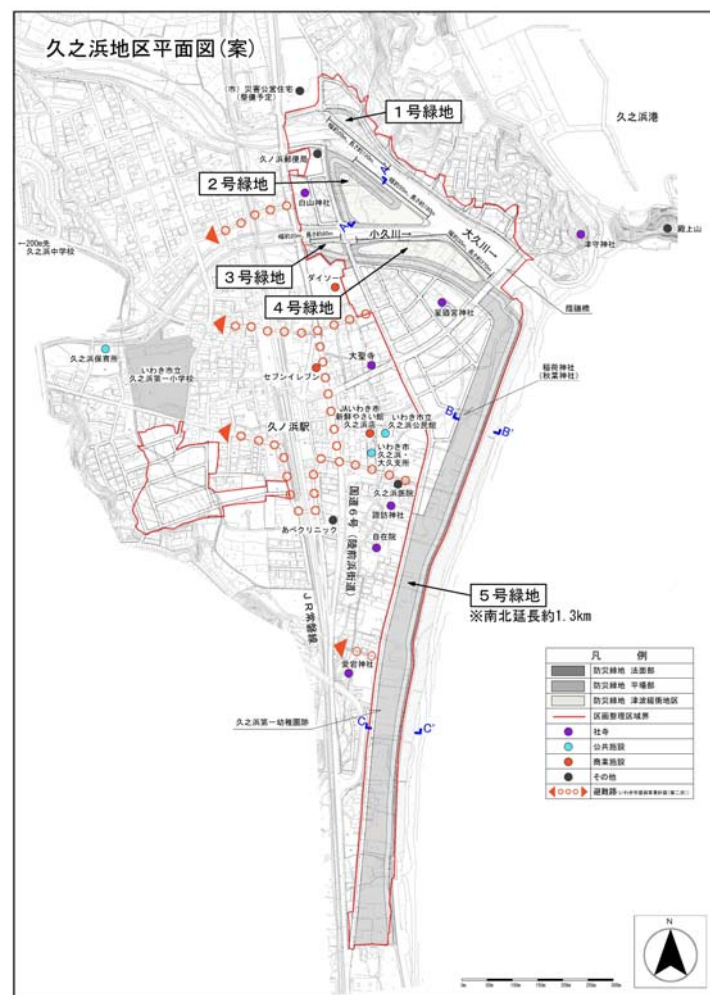
久之浜地区の防災緑地は以下のような位置や形状で計画されています。ワークショップでは、このような図面を利用して、参加された皆さんと意見交換を行っています。

## 久之浜地区の防災緑地平面図（案）

久之浜地区の防災緑地は、右図で示した範囲で計画されています。（図面内の、グレー色部分）

久之浜地区の防災緑地は、1号から5号の5箇所の緑地で構成され、久之浜のまちに沿って、海沿いや川沿いに配置されます。

1号緑地は大久川の北側、2号緑地は大久川と小久川に挟まれた場所、3号、4号緑地は小久川の南側、5号緑地は海沿いにそれぞれ配置されます。



### ※津波の規模と、いわき市津波防災まちづくりの考え方について

- **レベル1津波**：数十年から百数年の津波
  - ⇒ 海岸堤防等の整備による可住地域の浸水を防ぐ
- **レベル2津波**：千年に一度の最大クラスの津波（東日本大震災時の津波）
  - ⇒ 住民の避難を基本に、ハード・ソフトを組み合わせた総合的な防災・減災対策



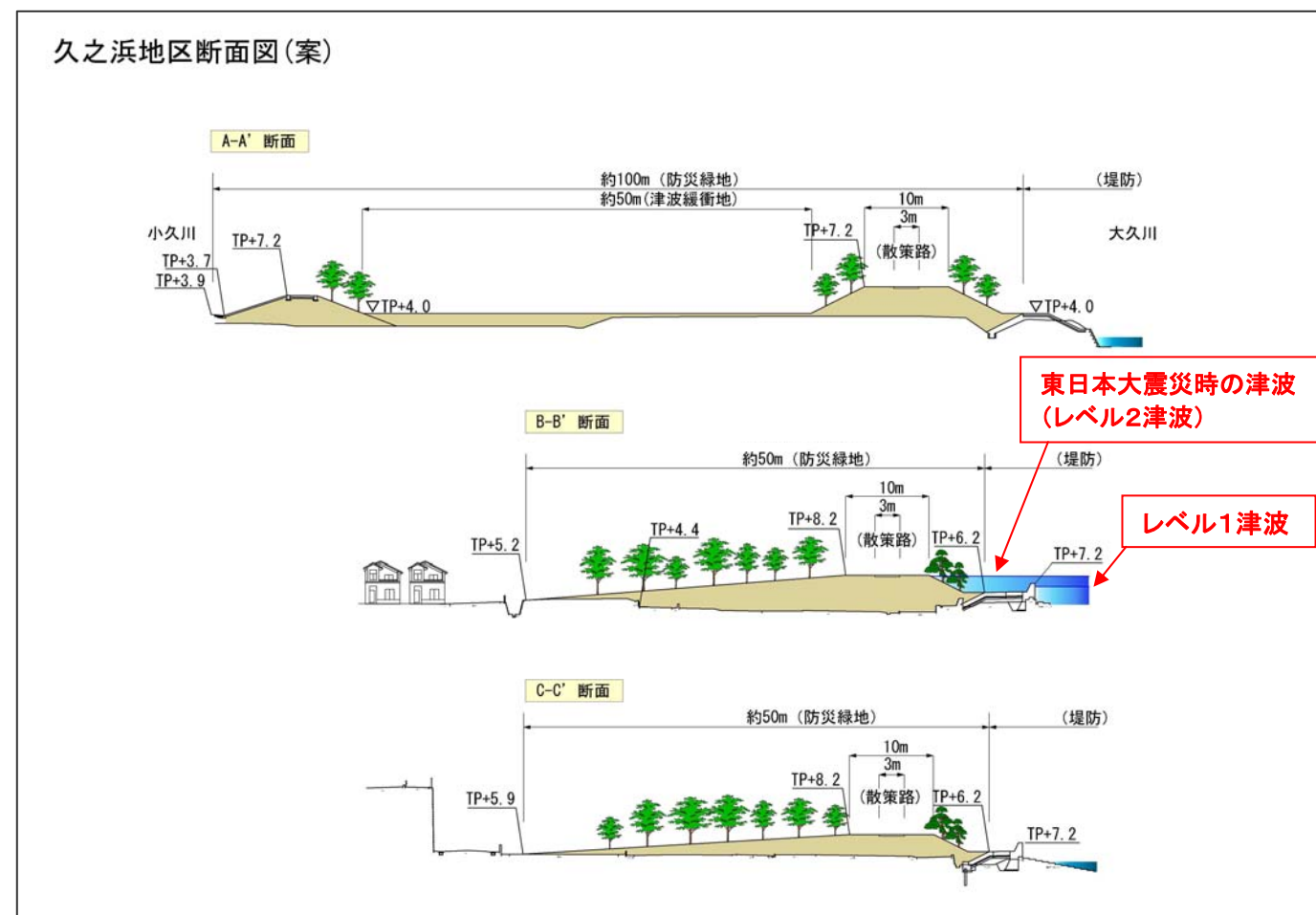
## 久之浜防災緑地断面図（案）

大久川・小久川には、川を遡上する津波の勢いを弱める緩衝地が設けられます。（A-A'断面）

海沿いに整備される防潮堤はレベル1津波\*に備える高さであり、5号緑地は防潮堤よりさらに1m高く、レベル2津波\*に備える高さになっています。

（下図B-B'断面参照）

また、5号緑地は約50mの幅が確保され、レベル2津波を越える津波が押し寄せた場合に備えて、津波の勢いを抑え漂流物を捕捉するための樹木が植えられます。（B-B'断面、C-C'断面）



★毎回、ワークショップの終了後に「久之浜防災緑地かわらばん」を発行し、各回の開催結果概要を、地域の皆さまへもご報告していきます!!!